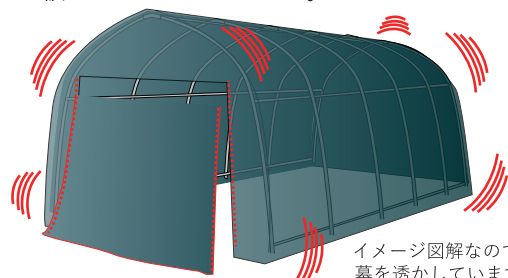
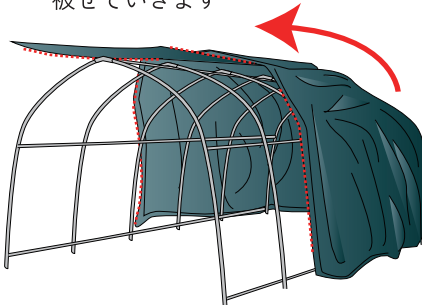
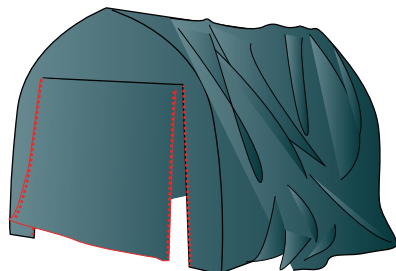


8 678M 用一体幕を被せていきます (本製品組立説明書 7 からの続きになります。)

- 幕前方にはファスナーが 2 本あります。
ファスナーをあけ、前部を開口します。

- 骨組の後側から、開口部を広げ
被せていきます

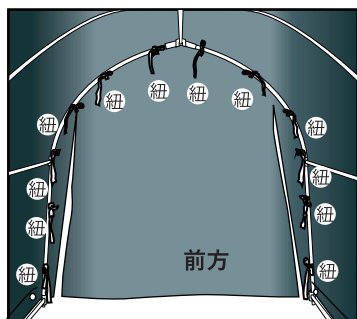
- 一体幕の四方と、裾の垂れ具合などを
微調整し、バランスのとれた位置に幕が
被るようにしてください。



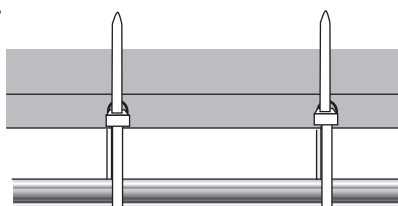
イメージ図解なので
幕を透かしています

9 一体幕内部の紐で、骨組に結束します

- 幕内部のフチにある紐を、パイプに跨がせます。
- 前方の紐、次に、後方の紐の順番で
パイプに結束し、幕を固定していきます。

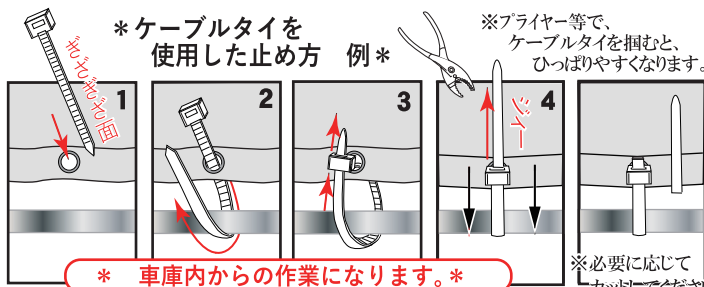
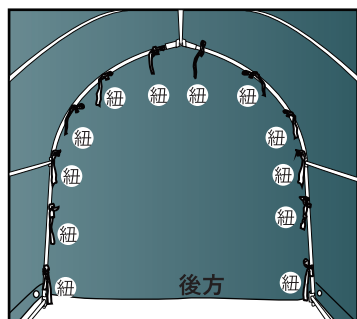
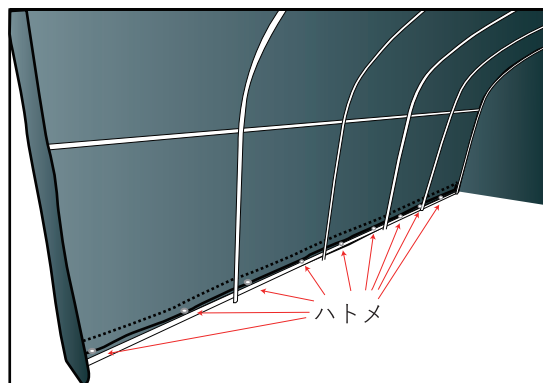


前方の紐は、ファスナーを閉じた状態で
取付けてください



- 左右の下部横通しパイプに、ケーブルタイで天幕を、結び終えた後、
下部横通しパイプを、ハンマー等で、
均等に叩き下ろすと、天幕を、さらに、
きれいに張れます。

- 一体幕左右のハトメ穴に、ケーブルタイを通し、
下部横通しパイプに結束してください。



* ケーブルタイを
使用した止め方 例 *

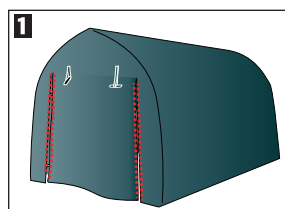
※プライヤー等で、
ケーブルタイを掴むと、
ひっぱりやすくなります。

* 車庫内からの作業になります。*

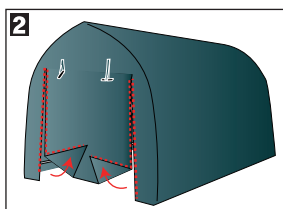
- 本体骨組の内側から、ケーブルタイを幕のハトメに通します。
3. 横通しパイプを抱きこんだ後、
ケーブルタイの先端を、ケーブル
タイの頭部裏に差込みます。
4. ケーブルタイの先端を引き上げ、
幕を横通しパイプに引き寄せると、
幕全体に張りができます。

※必要に応じて
カットしてください。

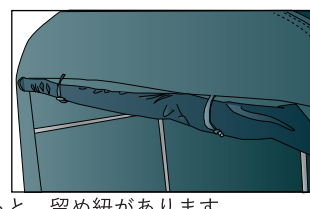
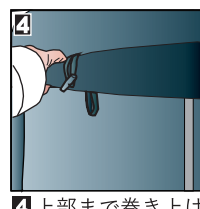
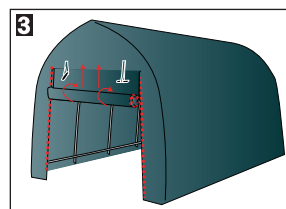
10 入り口幕に関して



- 1 前方左右のファスナーを
開きます。



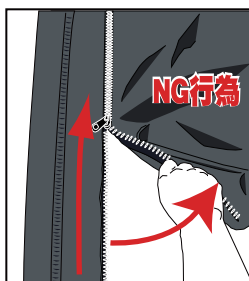
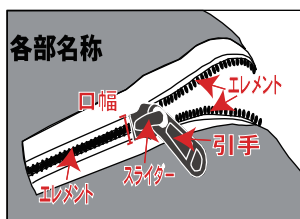
- 2 3 垂れ幕の左右下部を、折りたたみ、巻き込むと
巻上げを、しやすいです。



- 4 上部まで巻き上げると、留め紐があります。
後側の輪っか状の留め紐を、前側の樹脂留め具に
引っ掛けてください。

ファスナーに関して

各部名称



幕生地を持ち、引っ張る感じで幕をひろげて、スライダーを移動させると、スライダー部に大きな負担をあたえます。

スライダーは金属部品ですが、スライダー横部分に大きな負担がかかり、結果、スライダーの口幅が広がっていき、エレメントを閉じる力を失います。また、分解するおそれもありますので、左図の行為は行わないでください。

前幕開閉時の取扱い

ファスナーを開ける際は、
引手を持ち、スライダーを、動かしてください。
片手は片幕をにぎり、
操作してください。

